

MYスキ英語

LECTURE2
たったコレだけ!?
日本人の99%が知らなかった英語
～勉強不要の簡単トレーニング～



Lecture2

たったコレだけ!?日本人の99%が 知らなかった英語の始め方

平山：皆さん、こんにちは。

藤永：こんにちは。っていうか、これ、どこですか!?

平山：どこ?これ、日本ですか、先生(笑)

藤永：これ、私の不良話からここに来たでしょう?これ、飛躍してますよ!

平山：わかりました、母校ですね、これ、藤永先生の。

藤永：(笑)なわけ…全然、あれっていうのは、

平山：相当ひどいことになってますけど(笑)

藤永：僕と数名ぐらいなんで、全然…

平山：あの屋上の人とか、大丈夫ですか！？

藤永：（笑）これ、どこにあったんですか、こんなんね。

これ、ちょっとやっぱりケンブリッジがいいっすよねえ～。

平山：本当ですかねえ。

藤永：もうちょっと、これ、やりすぎでしょう。

平山：ちょっとね、はい。

藤永：じゃあ、これ、ちょっと変えましょう、ケンブリッジに。

平山：ちょっとこれも好きだったけどな、結構（笑）

藤永：面白い。まあまあ僕も好きですけどね、個人的にはね（笑）
じゃあちょっとケンブリッジ行きましょう。

平山：はい。

藤永：じゃあジャンプしましょう。はい、せえの！

おおっ、やっぱここが僕的にも落ち着きます（笑）

平山：なんかね、そうですね。ちょっとごめんなさい、先生のところ、ちょっと。

藤永：そうですね。

平山：はい、うん、気持ちが。

藤永：いや、僕もどちらかというと知的な派なんで（笑）

平山：そうですね。

藤永：（笑）いやいや、やっぱ落ち着きますねえ。

平山：まあまあ。ということでございまして、先生。今回2回目になりました。
1回目が大好評で！

藤永：そうだったみたいです。

平山：もう皆さんが早く、

藤永：もうありがたいです。

平山：次々ということ。

藤永：もういろんな、そうメールとか、催促のね。「もったいぶるな」というのがありました、はい。

平山：ありがとうございます、皆さん。

藤永：ありがとうございます。

平山：ということで、2回目は1回目の少しお話をいただきましたが、英語ができない日本人ほど必要で、日本人がこれまで99%の皆さんは知らなかった英語習得のメソッド、簡単にできるトレーニング法、具体的にお伝えをしていきたいと思えます

藤永：はい。そうですね。

まあまあ前回もお伝えしたんですが、意識的ヒアリング。
これ、日本語のSOVという文型から、これをSVOという英語の文型、これを意識して聞くこと、聞き流してはいけないということですね。

平山：はい、語順が違う。

藤永：語順が違うから、はい。頭が大事ですということ、お伝えしました。それと周波数も全然違いましたよね。

平山：うん。日本語と英語で全然違う。

藤永：日本語が100から1,500Hzで、英語が2,000から12,000Hz。こう全く交わってない。この周波数を克服する必要がある。

それと、三つ目のやっぱ大事なことがやっぱりイメージをする、文字化しないということですね。

平山：イメージ、うん。

藤永：聞いて、話す時も全く一緒です。イメージをしながら聞く、話す。これが非常に大事だということですね。

平山：さあ、じゃあ今回のレッスンでは、その具体的な方法を先生に少し教えていただこうということですけども、

藤永：そうですね。

先ほど意識的ヒアリング、ここが非常に最初大事なんです、最初の3単語か4単語、これを意識して聞くってことです。これが非常に大事、要するに瞬発力と私は言ってますが、ここをまず鍛える必要があります。

それは皆さんがお手持ちの既に昔の参考書であったりとか、そういう付属のCDであったりとか、すぐ実践できることなんで、ぜひこれもやってほしいなと思います。

じゃあ、ちょっと具体的にどういうことをやるかを、もう一度ホワイトボードを使って、

平山：あっ、お願いします。

藤永：はい、説明してみたいと思います。

平山：はい。いや、でも本当に多くの皆さんが英語に苦勞してきてますから、

藤永：そうですね。

平山：そんなに簡単にこれができるようになる方法があるのかって思いながら皆さん、ご覧になってると思いますけれども、あるんですよね？

藤永：ありますね、はい。もう非常に簡単な方法です。

藤永：じゃあ、最初の3単語。4単語、5単語、要するに、頭出しが大事だってことですね。

たとえば、**I played baseball.**にしましょう。僕は野球部だったんで、**baseball with**〜で、どこで何々と文章があったとします。もっと長い文章できます。ただ、その音声 flowed 時に、こういう音声は **パーッと** flowed とします。付属のCDでも何でも結構です。flowed 時に**1、2、3、三つ、ないし四つ、一番最初は三つぐらいが一番いい**ですね。

実は日本人の方、先ほど言ったように一番最後のここだけ耳に残ってるという方がものすごく多いんです。繰り返している方。皆さん、経験あると思います。たとえば **park** というのがあったとします。せつかく、「**I played baseball with park.**」って言って、**park** だけ（耳には）残ってるとか、多分あると思うんですね。

その時に主語すらも抜けているという方がものすごく多いんです。なので、まず最初に、これが今までのリスニングと全く違うところです。後ろは完全に無視してください。無視して結構です。まず「頭」。慣れなかったら最初の主語でもいいです。主語が飛んでる方もいっぱいいらっしゃいますから。

そして、動詞です。たとえば、否定形だったりとか、あと will とか、こういう副詞とかもも含めていいです。まず、1 単語から始めて 2 単語、そして 3 単語ぐらいまでをしっかりと聞くっていうことをやってほしいなと思います。これでもう全然変わってきます。

平山：うん、そうなんですね。

藤永：後ろをね、要するにみんなここを全部聞き取らなきゃって思うじゃないですか。多分、そのプレッシャーだと思うんです、皆さん。そうじゃなくて、僕が推奨するのは、まず最初だけでいいんですよ。

3 単語わかんなかったら主語だけでも結構です。これで瞬発力が確実に身につけてきます。ぜひ皆さん、やってほしいなと思います。

平山：最初の 3 単語をリスニングの時に注目して、ちゃんと聞くようにする。

藤永：聞く、意識して聞くってことですね。聞き流しっていうと、聞き流しはただずっとバーツと言ってますよね。

平山：確かに、そうですね。すべてをなんとなく聞いているような感じ。

藤永：すべてをなんとなく聞いて、でも結局日本人の癖っていうのは最後のほうが大事だって言いました。

平山：本当に先生、その通りですね。

藤永：だからここだけを聞くっていう、

平山：最後ばかり。

藤永：習慣がついてるんです。その習慣を頭に持ってくることをやっていくっていうことですね。

平山：なるほど。意識改革だ。

藤永：ぜひやってみてください。今すぐにでもできます。

平山：なるほど。はい。さあ、そしてなんかもう一つ、もしよかったら、先生、私たちでもできること、教えていただけると…

藤永：そうですね。じゃあこの最初の 3 単語、これがある程度できてきたなっていう時には、たとえば、全部聞かないと結局は意味、わからないじゃないかってことですよ。

平山：そうですね。

藤永：じゃあ、今度、持久力をつけていくんです。瞬発力で、次に持久力をつける。で、持久力をつけながら何が習得できるかという、実はリズム感です。

平山：リズム感？

藤永：そうです。

で、今度は何かではなくて、実は数を当ててほしいということです。

平山：数当て？

藤永：そうです。数当てトレーニングというものです。ものすごく簡単です。最初の3単語をやりました。次のステップとしてこの文章が何単語でできてるんだろうかっていうのを当ててほしいわけです。内容は一切理解しなくていいです。内容を理解しろというものではないです。

なぜこれがいいのかというと、一番いいやり方、全部文書を聞いた後に、頭の中でもう一度復唱してみてください。

「ん、ん、ん」みたいなかたちです。

これをやることで何が生まれるかっていうと、この「ん、ん、ん」、もう一度聞いた音を復唱する、頭の中で復唱することで、先ほど申しあげましたヘルツ数も徐々に克服できていきます。

要するに、頭の中でリズムを追っていつてますから、英語の音をしっかり取って、内容じゃないです。でも、どこの学校もそうなんですけど、内容を理解しなくていいよという講師は誰もいないと思うんですね。

平山：いないですね。

藤永：だからそこが根本的に間違いなんです。

まずは言いました、言語習得、日本語もそうです。意味がわからずとも聞いてたんです。そのリズムを体感してたんです。それを再現させています。それが数当てトレーニングですね。

なので、一切、一切です、意味は理解せずに、最初から最後まで聞いて、何単語でできてるかを復唱したあとに、復唱しながら数えていつてほしいということですね。

平山：なるほど。

藤永：追いながら数えるんじゃないです。

たとえば、**I played baseball** ブラブラブラじゃなくて、全部聞いたあとです。あとに頭の中でもう一回やる、これが非常に重要です。これがリズム感を習得する上でものすごく大事なものになるので、ぜひこれもチャレンジしてみてください。ものすごい面白いです。意味は一切必要ないです。

平山：はい。なんかこれだったらできそうな感じが。

藤永：そうなんですよ、そうなんですよ。

平山：うん、します。

藤永：もう何でもいいんです。

ただ、英語の歌とかそういうものは英語独特のリズム感はないので、やはり文章になっているものですね。文章になっているものでやってもらえたらと思います。

だから自分の好きな映画があったりとかするじゃないですか。じゃあ、そのワンプレーズをちょっと聞いてみるとか、何単語かなとか、そういうこともできるので、誰でも簡単にできます。

平山：はい。最初に教えていただいた最初の三つの単語を認識する、意識的ヒアリングが大事で一つ目の課題克服ですよ。

で、リズム感が大事って二つ目の課題克服が今おっしゃってくださったものですよ。

藤永：はい、そうです、そうです。

平山：で、三つ目にイメージときてますけれども、

藤永：ああ、そうなんですよ。このイメージというのがなかなか克服するのが…

これね、私も苦労するんです、その教える時に。これが結局ちょっとね、結構これ、難しいんですよ。で、ご自身でやったりするのもちょっと難しいので、これについてまた特別なやり方があります。それをちょっと次回、お伝えしたいなと思います。

平山：了解いたしました。

藤永：ただ、それまでに皆さん、やってほしいんです。数当てだったり、最初の3語だったりやって、もう感想をどんどんください。ぜひやってみて、私はこうできました、できませんでしたとか、そういう感想でも構わないです。

平山：はい。でも先生、ちょっと今皆さんの気持ちを代弁してもよろしいですか。

藤永：はい、いいですよ。

平山：これね、なかなか自分でやるとなると難しいかなって思われてる方もいらっしゃるかもしれません。

藤永：そうですね。特にその三つ目のイメージっていうのはもうこれ、自分でやるのはなかなか難しい、これが私がほかの生徒さんに教えてる時も全くそうなんですよね。ここが難しい。

平山：先生、でもこれが何か一つのプログラムの中でできてしまうという噂を、

藤永：いや、その方法もあるんです。あるんです。じゃあ、それも私が今まで長年ずっと指導させていただいて、英語を習得していただく中で見つけた方法があるんですね。

平山：なるほど。

藤永：で、これはやっぱり今じゃないとちょっとできなかった方法です。

ほかの生徒さんもみんなやってるんですよ、数当てだったりとか、最初の3単語だったりとかやってもらってるんですけど、この動画を見てくださってる方にはもうここ、私のだから集大成ですね。英語を習得、この一番大事なリスニングに対する集大成、その方法をお見せしたいなと思います。

平山：おっ、本当ですか、先生。

藤永：はい。もう自信作です。

平山：自信作？

藤永：要するにCDだったりとか、Youtubeを見たりとか、そういうのが手間だっという方、もうぜひぜひ見てほしいと思います。なまけものでもできます、僕みたいな。

平山：（笑）いえいえ。

藤永：わざわざなんか本、昔の本とかって、ねえ。

平山：うん、そう、いろんなところから引っ張ってきて、もう、

藤永：ねえ。いろんなの引っ張って、じゃあこの単語当たってるのかなとか、そういうことも一切やらなくていいです。

平山：なるほど。

藤永：すべてが集約された方法があるので、これも皆さん、ぜひ見てほしいなど。
動画 2 まで見たらもう三つ目まで見ましょう。

平山：はい（笑）

藤永：だってこれ、三つ目まで見ないと、時間無駄になりますからね。

平山：そう、確かにそうだ。

藤永：うん、もう見てほしいなと思います。

平山：了解いたしました。

藤永：本当ね、期待は絶対裏切らないですから。びっくりすると思います。

平山：じゃあ、この三つ目の動画をご覧になっていただいて、そのメソッドを習得した暁には、

藤永：もう、そう、すっきりしてほしいの。暁には、もう、そうです。

平山：暁には、はい。

藤永：ケンブリッジです。いや、ちゃうちやう（笑）

平山：（笑）

藤永：旅行だったり、やっぱり外国人、英語を話してね、皆さんに僕、ここで言いたいんですよ。ちょっと熱いメッセージになりますけど、英語を習得したから何をしたいのっていう目標設定がないと、僕はやっぱり英語を習得しても何なの、意味がないじゃんってなると思うんですよ。だから、自分は海外旅行に行きたいんだ。字幕なしで見たいんだ、

平山：見たい。

藤永：で、海外のもういろんな知識を増やしたいんだ、外国人と文化の交流をしたいんだとか、

平山：楽しいですよねえ。

藤永：そういうのを見つけてほしいんです。その思いで三つ目の動画を見てほしいなと思います。

平山：うん。なんか夢、広がってきた。

藤永：そういう方々のために準備しています。

平山：あっ、ご期待いただきたいと思います、皆さん。さあ、それでは次回の最終回、第3回目には、

藤永：そうですね、最終回です。

平山：先生に、誰でも簡単に一つのプログラムの中で今まで教えていただいたことが実現できちゃうという、

藤永：そうです。たった一つでできます。

平山：うん。楽しみです。

藤永：はい、ぜひ楽しみにしてほしいなと思います。動画を見てるだけでも、そのステップを踏んでいくだけでも確実に上達します。

平山：わあ。これはもう絶対第3回は見ないとですね！

藤永：次回、ケンブリッジになるかわかりませんが、はい。じゃあまたまた、

平山：（笑）はい、お会いしたいと思います。

藤永：次回、お会いしましょう！

平山：先生、ありがとうございます。

藤永：ありがとうございました。ありがとうございます。

平山：皆さん、ありがとうございます。

藤永：ありがとうございます。

次回、第3話では、すべてが一つに集約されたメソッド

『全貌公開 新感覚！一番カンタンなやり方に特化した英語覚醒プログラム』

をお伝えします。

独学で英語をマスターするなんて難しい…

これは私が他の生徒さんに教えている時も全くそうなんです。ですが、私が今まで長年ずっと指導させていただいて、英語を習得してもらう中で見つけた方法があります。

その集大成とも言える、最も簡単なやり方、意識して聞くだけで自動的に英語力を養うプログラムの全貌を公開します。

- ・英語を自由に話しながら海外旅行したい
- ・海外ドラマや映画を字幕なしで観たい
- ・カッコよく、英語を流暢に話したい…
- ・海外の知識を増やしたいんだ！外国の文化に肌で触れたいんだ

ホント、楽しいですよ。夢が広がりますね！
そういう方々のために準備しました。もちろん、次回の動画を見てるだけでも、そのステップを踏んでいくだけでも確実に上達する方法がわかります。

では、次回の公開をお楽しみに！！

【藤永丈司プロフィール】

何の対策もせず初受験で TOEIC990(満点)、英検 1 級取得。小学校英語指導者資格、ニンテンドー3DS ソフト「TOEIC テスト超速トレーニング」スペシャルアドバイザー、芸能人への個別指導、英会話・TOEIC 講座、企業研修、他多数。

自身の受験英語への疑問や登校拒否といった苦い体験から、文法や暗記などといった従来の学習を 180 度違う角度から切りこみ、短期間で「英語回路」を身につけるメカニズムを発見。10 年以上にわたる海外生活から、外国人の英語習得の早さと相対する日本人の遅さの違いを同時に徹底的に解説・研究を繰り返すことで、日本人へ「英語回路」を植付ける仕組みを解明。

日本人には日本人独自の習得方法があることを見出し、母国語を自然に覚えるメカニズムに独自言語習得法と本来人間が持っている爆発的な潜在能力を融合する事でその効果を確実なものとしている。

主な著書にベストセラーシリーズ累計 10 万部『「超速」英語プログラム』『なぜ、留学生の 99% は英語ができないのか?』他多数。現在、2020 年までに 5,000 人のネイティブスピーカーを輩出し、英語を使って、世界で活躍できる日本人を後押しするビジョンに向けて、初心者も短期間でネイティブにする最短ステップをプログラム化し、多くの日本人に伝導している。

